

主体的に学ぶ力を身に着け、学校成績向上と希望校合格を果たそう

開倫塾

塾長 林 明夫

Q：新年度を迎えるにあたって一言どうぞ。

A：(1)開倫塾の塾生の皆様、開倫塾へようこそおいでくださいました。私は、開倫塾の創業者で塾長の林明夫です。新年度を迎えるにあたって、一言ごあいさつを申し上げます。

(2)開倫塾は、1979年に、日本最古の学校足利学校のある栃木県足利市で誕生し、現在は、栃木・群馬・茨城の3県に展開する60校舎で小学校1年生から高校3年生までを指導している本格的進学塾です。

(3)数ある学習塾の中から開倫塾をお選び頂き、塾生として勉強に励まれる皆様には、是非、開倫塾の特長を十分にご理解頂いた上で最大活用し、「主体的に学ぶ力」を身に着け、「学校成績向上」と「希望校合格」を果たして頂きたいと強く希望いたします。

Q：「主体的に学ぶ力」とは何ですか。

A：(1)開倫塾では、学力とは「主体的に学ぶ力」と考えます。主体的とは「人から言われてではなく、自分から進んで」という意味です。勉強する際には、「人から言われてではなく、自分から進んで学ぶ」ことが大切です。

(2)もっと言えば、「人から言われてではなく、自分から進んで学ぶことができる」のは、大切な「能力」です。

(3)ですから、開倫塾では、「学力」を「主体的に学ぶ力」と考えています。「学力」ということばの意味を「主体的に学ぶ力」と「定義」しています。

Q：「主体的に学ぶ力」を身に着けるにはどうしたらよいのですか。

A：(1)「自覚をもって学ぶこと」が求められます。

(2)自覚をもつとは、自分の長所や欠点をよくわきまえて行動することです。

(3)自分は一体何者なのか、自分の果たすべき社会的役割とは何か、何のために学ぶのか、何のために働くのか、何のために生きるのかなどを自分の力で考えた上で勉強することが、「自覚をもって学ぶこと」につながり、「主体的に学ぶ」こと、つまり、他人から言われてではなく、自分から進んで勉強することに結び付きます。

Q：そのためにはどうしたらよいのですか。

A：(1)地域や日本、世界では今までにどのようなことが起きたのか、現在はどのようなことが行われているのか、これからどのようなようになるのかを目を「カッ」と開いて見ることが一番です。

(2)TVや新聞、雑誌、インターネット、本に積極的にアクセスし、自分で考える力、とりわけ、本当にこれでいいのだろうかと批判的に考える力(批判的思考能力)を身に着けることが大切です。

(3)同時に、これぞという古典を腰を落ち着けてじっくりと読み込み、筆者との時や空間を超えた対話、「時空を超えた対話」をすることが極めて有益です。

Q : 「学校成績向上」を果たすにはどうしたらよいのですか。

- A : (1) 学校の教科書や教材、問題集をできるだけ先のほうまで自分の力で「予習」すること。「予習」の目的は「何がわからないかをはっきりさせてから授業に臨むこと」と、開倫塾では考えます。
- (2) 学校や開倫塾の授業は、手を机の上に置き、先生の目を見て、一語も漏らさずに聞き、必要なことはすべてノートに取ること。つまり、授業に積極的に参加することが大事です。
- (3) 授業が終了したら、その日に習った内容をもう一度おさらいすること、やり直すこと。わからないことがあれば、自分で調べること。それでもわからなければ、遠慮しないで先生に質問すること。わからないこと、理解できないことは一つ残らず無くすこと。
- (4) このようなおさらい・やり直しをして十分に「理解」したことは、「音読練習」「書き取り練習」「計算・問題練習」(これを、開倫塾では「定着のための3大練習」といいます)の3つの練習をして、定期テストの前日までにスミからスミまで身に着ける、「定着」させること。これが、定期テストで100点満点を取ること、つまり、「学校成績向上」を果たすことに直結します。
- (5) 「学校成績向上」を果たすための勉強の仕方は、小学校1年生から高校3年生まで全く変わりません。①「授業の予習」、②「熱心に授業に参加」、③「授業内容のおさらい・やり直し」、④「定着のための3大練習」でスミからスミまで身に着けることに尽きます。

Q : 「希望校合格」を果たすためにはどうしたらよいのですか。

- A : (1) ①何のために進学するのか、②希望校に合格して何をするのか、③希望校を卒業して何をするのか、④どのような人生を歩みたいのかなどを自分の力で突き詰めて考え、希望校を決定すること。
- (2) 「受験生としての自覚」をもって、生活に必要な時間と眠る時間以外はひたすら机に向かうこと。健康管理も自分の力でいながら、「ハードな長時間自己学習」を入試当日まで行えば、夢は必ず叶います。
- (3) ただし、「読解力」がないと、教科書や教材に書いてあることだけでなく、全教科で長文化している試験問題自体を「読み解く」ことが難しくなります。そこで、わからないことは必ず「辞書」で調べ、「新聞」を毎日読み、「読書」をたとえ10分でも毎日行うことにより、入試当日までに「読解力」を自分の力で育てることが不可欠です。
- (4) 「読解力なくして、学校成績向上と希望校合格なし」、こう断言できます。

Q : 最後に一言どうぞ。

- A : これらの課題に対して、塾生の皆様の立場に立って真正面から取り組み、様々なプログラムを37年の経験を踏まえて準備しているのが開倫塾です。どうか塾生の皆様は開倫塾を最大活用し、「主体的に学ぶ力を身に着け、学校成績向上と希望校合格を果たす」ことに挑戦してください。
御入学、御進級おめでとうございます。

2017年2月19日(日)
(宇都宮大学大学院工学研究科 客員教授)